
11 品目別調査結果 ヒラメ

1. 概況
2. 調査実施概要
3. 各取引段階の“量”の変化
4. 各取引段階の“価格”の変化
5. 福島県産品に対する認識

1. 概況

387

調査結果概要（1/3）

1. 各取引段階の“量”の変化

出荷段階

- 福島県産ヒラメの漁獲量は、震災後の操業自粛により漁獲がない状態で推移したが、令和2年度は平成22年度の76.9%まで回復している。
- 漁獲量のシェアは、震災後に茨城県や千葉県を下回るようになったが、平成30年度以降には2県を上回った。

卸売段階

- 首都圏の市場、特に東京都中央卸売市場では、年間を通して福島県のヒラメが流通している状況であった。
- 東京都中央卸売市場の10月の福島県産ヒラメのシェアは、平成28年の試験操業開始後上昇し、平成30年には平成21年のシェアを上回り、その後横ばいに推移している。

388

2. 各取引段階の“価格”の変化

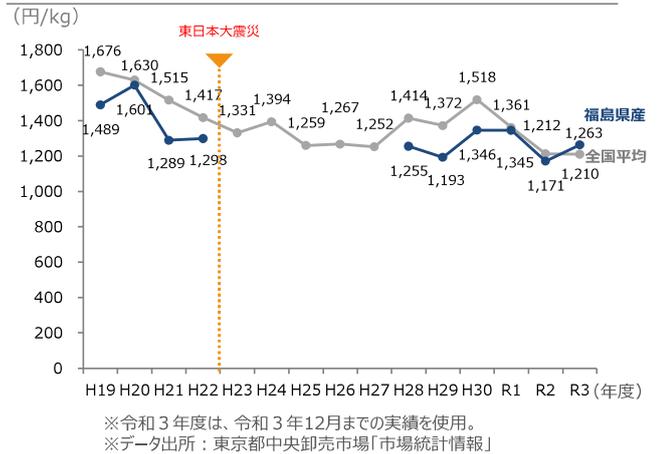
市場における状況

- 東京都中央卸売市場での福島県産ヒラメの取引価格は、試験操業で出荷が再開された平成28年以降、平成22年度と同様の価格水準を推移している。
- 全国平均価格との価格差は回復しており、令和3年度は震災以降で初めて全国平均単価を上回った。

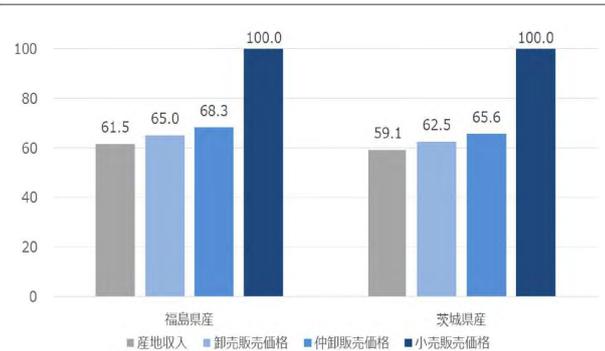
個別事例における状況

- 福島県産と他県産を併売している小売業とその納入先から価格を入手した。
- この事例では、福島県産と他県産で価格形成に明確な違いは見られなかった。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



ヒラメの価格形成事例

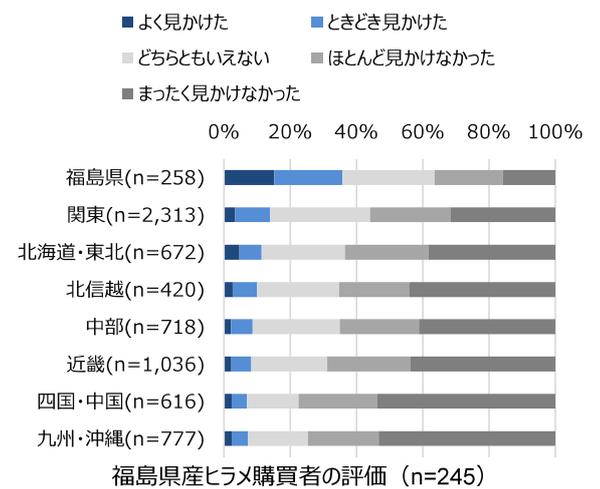


3. 福島県産品に対する認識

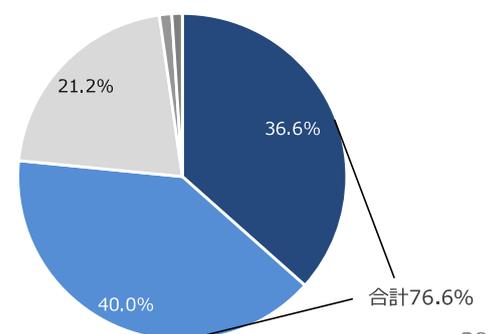
消費者の反応

- 福島県産ヒラメをよく見かけた人の割合は、福島県が高く、他の地域では5%に満たない。
 - 福島県産ヒラメを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.2%であった。
- 福島県産ヒラメの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.6%であった。

福島県産ヒラメを店頭で見たか



非常に良い 良好い ふつう 悪い 非常に悪い



2. 調査実施概要

調査の全体像

概要調査として政府統計等を整理し、全体像を把握した。また、消費者へのアンケート調査により、消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握した。さらに、取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析した。

	概要調査	アンケート調査	追跡調査
概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報を整理し、生産・流通の実態を把握。 市場での動向については、競合県産品との比較分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問面接により取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、事例を分析する。 他県産の同品目についても調査の上、比較分析を行う。
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 行政機関の政府統計。 卸売市場データ。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国の消費者。 (11,000人) 	<ul style="list-style-type: none"> 小売業に流通するヒラメ。 福島県産以外に他県産も扱う事業者を対象に含める。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 福島県産ヒラメの出荷量。 卸売市場における取扱量と、競合県産品と比較したシェアの推移。 卸売市場における取引価格の競合県産品との比較。 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県産ヒラメの視認経験。 福島県産ヒラメの購買経験。 ヒラメ購買時の重視点。 福島県産ヒラメの評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 流通ルートを抽出し、取引価格の追跡調査(各取引段階における関係者からの個別データ収集)を行う。
各節との対応	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">各取引段階の“量”の変化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">各取引段階の“価格”の変化</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">福島県産品に対する認識</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">各取引段階の“価格”の変化</div>

各データを入手・分析し、最新の傾向を比較した。アンケート調査と追跡調査については、独自に情報を収集した。

概要調査
使用データ

- 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」。
- 首都圏・関西圏・名古屋・札幌の各市場の統計データ。

アンケート
調査

- 全国の消費者にWebアンケート調査を実施。
 - 11,000件を回収・分析を実施した。

追跡調査

- 首都圏の小売業へ流通するルート：1ルート。
 - このルートでは競合産地産の価格も収集。
- 福島県内の小売業へ流通するルート：2ルート。
 - うち1ルートは競合産地産の価格も収集。

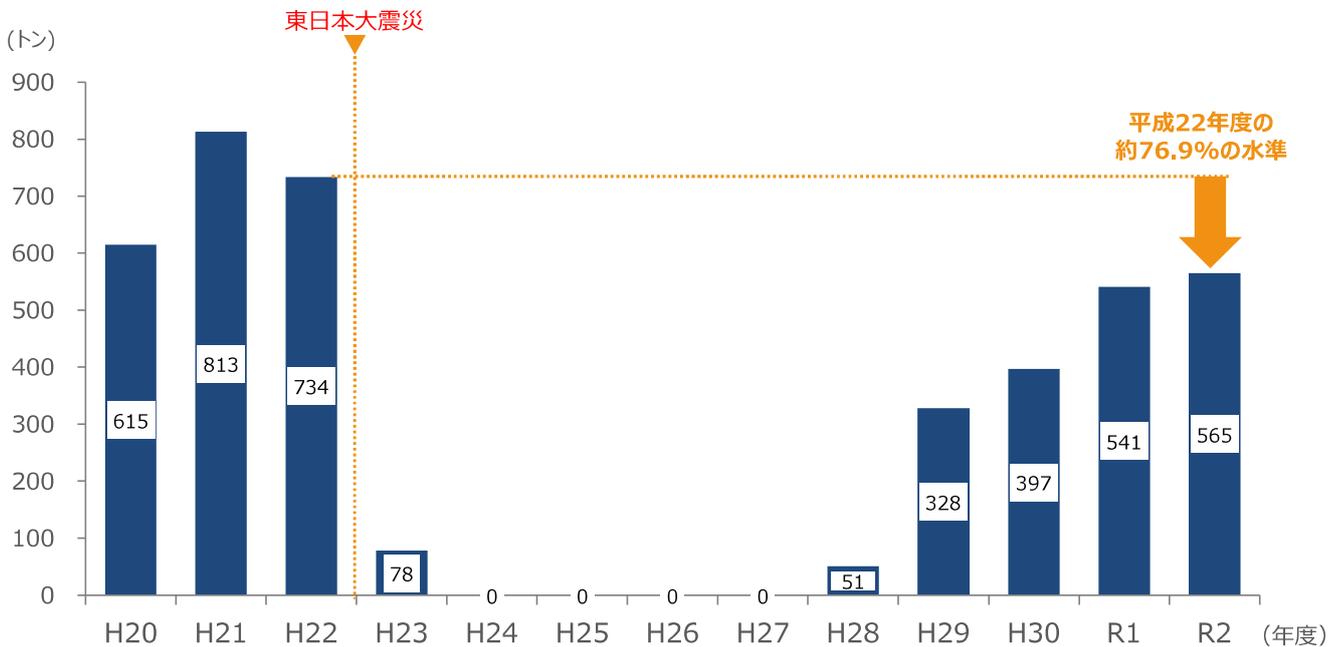
※個社が特定できないようにするとともに、実額を非公表とすることを前提に一部事業者から受領

393

3. 流通経路の変化

福島県におけるヒラメの漁獲量は、震災直後大幅に減少した後、漁獲がない状態で推移したが、令和2年度は平成22年度の76.9%まで回復している。

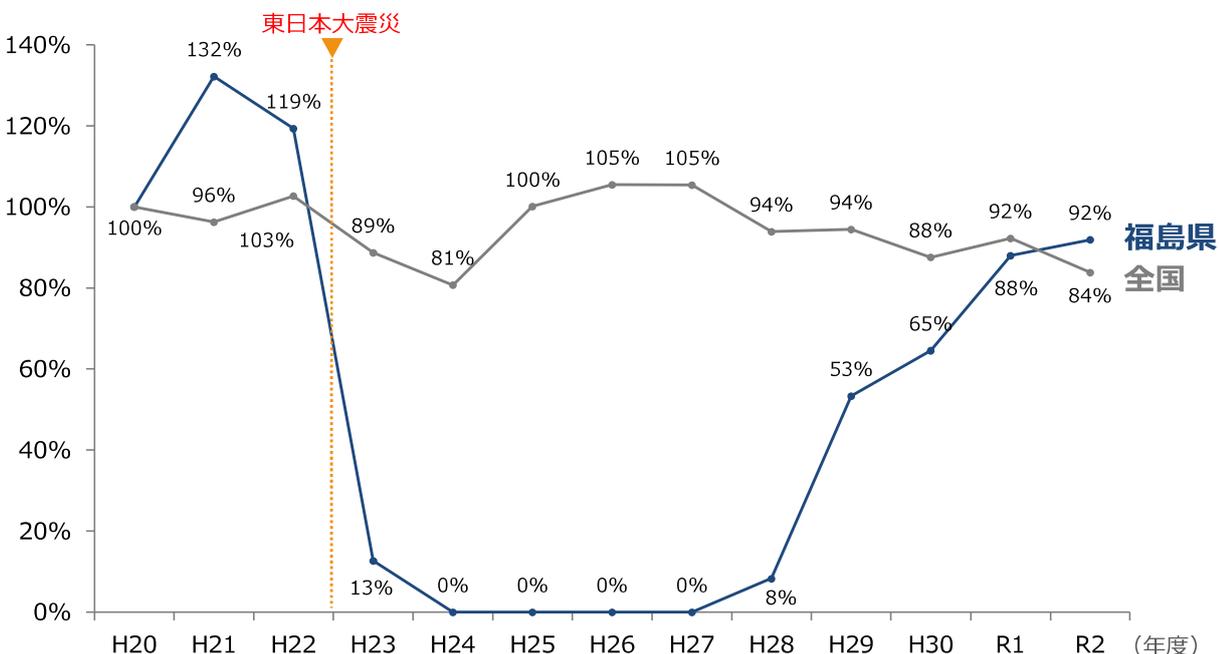
福島県におけるヒラメの漁獲量の推移



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

福島県におけるヒラメの漁獲量は、震災後の平成23年度から大幅に減少し、その後漁獲がない状態で推移していたが、令和2年度には平成20年度の92%程度まで回復してきている。

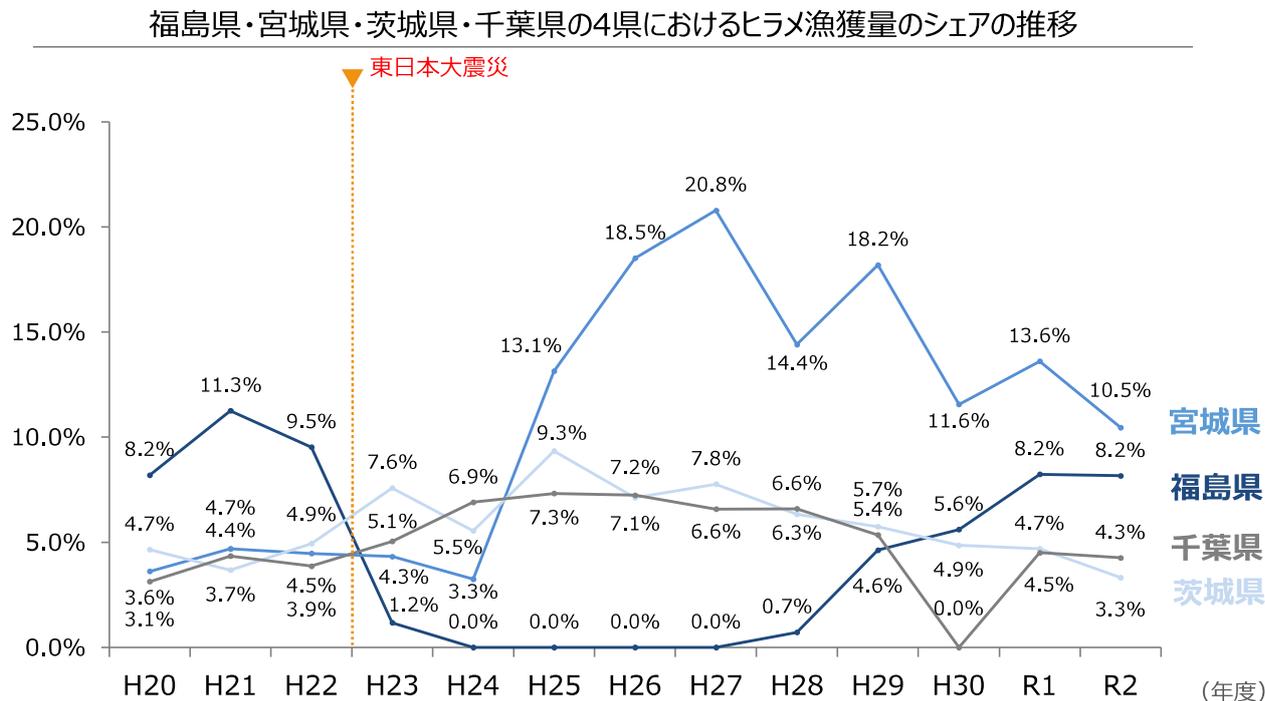
全国と福島県におけるヒラメの漁獲量の推移（平成20年度を100%とした値）



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

福島県・宮城県・茨城県・千葉県の4県におけるヒラメ漁獲量のシェアの推移

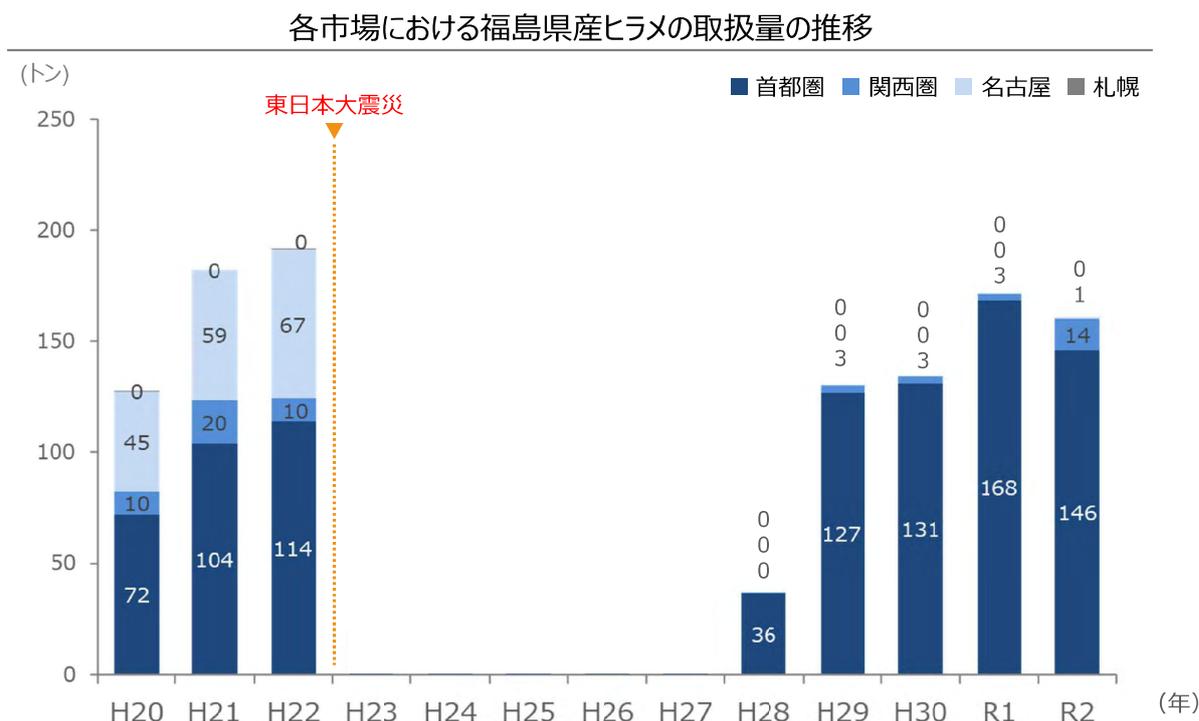
ヒラメの漁獲量において震災前に10%前後であった福島県産ヒラメのシェアは、震災後に茨城県や千葉県を下回るようになったが、平成30年度に再び上回り、令和2年度は8.2%まで上昇している。



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産ヒラメの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ヒラメは、震災以前は首都圏・名古屋での取引が多かったが、平成28年に試験操業を開始してからは、名古屋での取扱いが殆どなくなった。令和2年においては、首都圏の取扱量は震災以前の水準を上回っている。



データ出所：各卸売市場の統計データ ※ ヒラメは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す

各市場におけるヒラメの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、7月を除いて福島県産ヒラメのシェアが3位以内であった。また、横浜市中心卸売市場では1月・5月・6月・11月・12月に福島県産ヒラメのシェア1位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に

■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	20%	21%	13%	13%	16%	13%	4%	14%	17%	17%	32%	23%	120
青森	20%	5%	11%	22%	34%	39%	42%	37%	26%	22%	20%	19%	196
宮城	7%	4%	2%	0%	5%	28%	31%	13%	3%	10%	10%	11%	92
千葉	7%	10%	34%	38%	14%	1%	2%	3%	4%	3%	6%	12%	78
北海道	5%	2%	1%	3%	16%	7%	10%	13%	29%	34%	9%	7%	73
総量	57	65	58	50	94	123	74	44	25	38	54	57	

横浜市中心卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	19%	10%	5%	9%	39%	33%	7%	14%	12%	24%	38%	40%	26
青森	11%	1%	2%	4%	12%	21%	40%	32%	23%	39%	21%	14%	20
千葉	12%	17%	33%	38%	16%	4%	6%	11%	2%	3%	3%	6%	16
茨城	17%	16%	10%	7%	4%	3%	4%	8%	1%	3%	12%	3%	9
北海道	5%	4%	2%	2%	10%	11%	13%	4%	18%	10%	3%	10%	9
総量	8	12	14	8	13	19	13	6	2	5	9	9	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるヒラメの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ヒラメの取扱いはわずかであった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に

■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	5%	7%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	11
韓国	51%	42%	41%	42%	18%	17%	24%	56%	70%	61%	52%	44%	295
鹿児島	20%	25%	30%	25%	18%	16%	29%	12%	3%	4%	4%	5%	116
宮城	0%	0%	0%	0%	11%	37%	23%	4%	0%	0%	8%	17%	70
大分	11%	18%	14%	10%	10%	5%	5%	5%	4%	5%	2%	7%	58
長崎	3%	6%	5%	1%	5%	1%	9%	13%	14%	12%	11%	13%	54
総量	58	62	65	40	58	79	71	49	49	54	58	66	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	4%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	3
宮城	14%	12%	10%	12%	28%	41%	48%	34%	4%	30%	47%	45%	97
長崎	25%	44%	50%	16%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	4%	40
香川	15%	10%	10%	9%	5%	4%	8%	16%	46%	24%	16%	10%	35
青森	2%	0%	1%	5%	11%	19%	17%	14%	11%	6%	5%	3%	27
京都	7%	6%	5%	8%	13%	10%	11%	18%	1%	5%	1%	1%	25
総量	32	32	25	19	38	50	33	17	7	15	23	35	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるヒラメの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ヒラメの取扱いはわずかであった。
札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ヒラメの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位~3位の順に ■■■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
宮城	14%	3%	4%	8%	22%	30%	34%	26%	17%	25%	30%	21%	161
兵庫	30%	32%	24%	22%	12%	11%	19%	16%	5%	3%	9%	17%	129
愛知	13%	14%	13%	6%	10%	12%	9%	21%	35%	34%	22%	13%	123
北海道	8%	2%	0%	5%	30%	27%	14%	1%	1%	2%	2%	8%	83
大阪	10%	13%	12%	13%	6%	5%	8%	14%	19%	13%	13%	13%	83
総量	68	57	57	46	85	104	79	55	40	59	54	72	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	87%	66%	67%	95%	99%	99%	98%	95%	97%	97%	95%	90%	313
愛媛	10%	17%	15%	3%	1%	1%	2%	5%	3%	3%	5%	9%	14
長崎	1%	6%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
鹿児島	2%	6%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
福岡	0%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
総量	20	16	7	20	56	70	38	19	20	26	15	25	

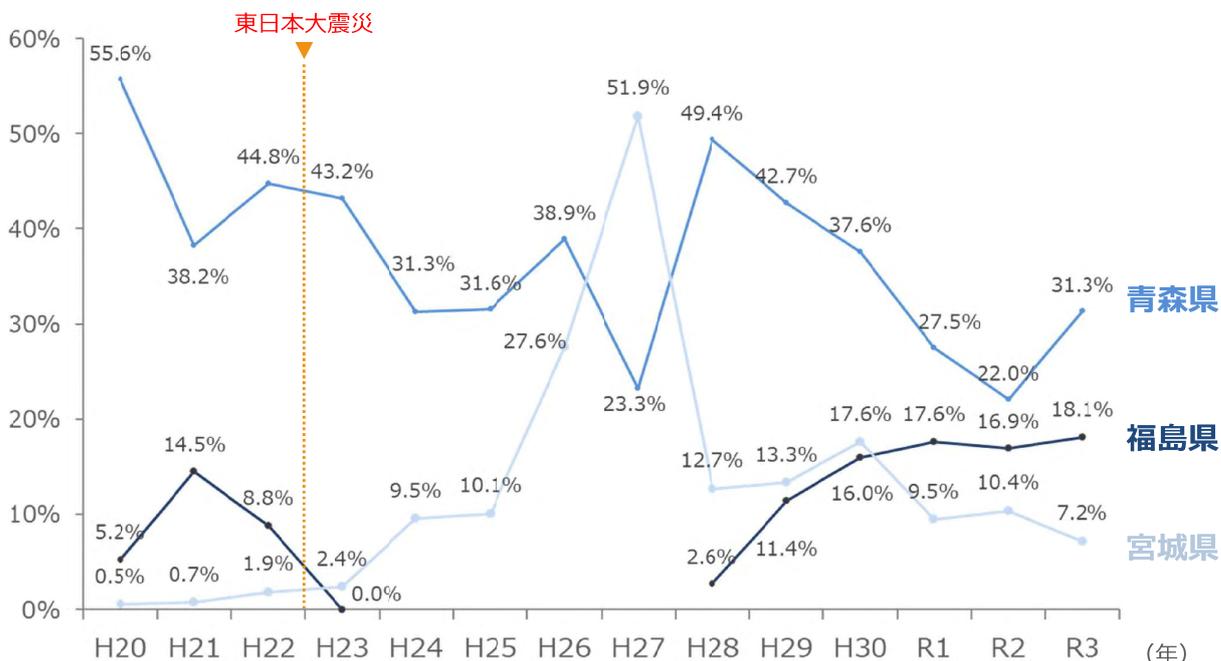
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産ヒラメのシェアの推移

東京都中央卸売市場の10月の福島県産ヒラメのシェアは、平成28年の試験操業開始後上昇し、平成30年には平成21年のシェアを上回り、その後横ばいに推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(10月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※ヒラメは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。